

スロープ設置など市助成制度

創設2週間で申請14件

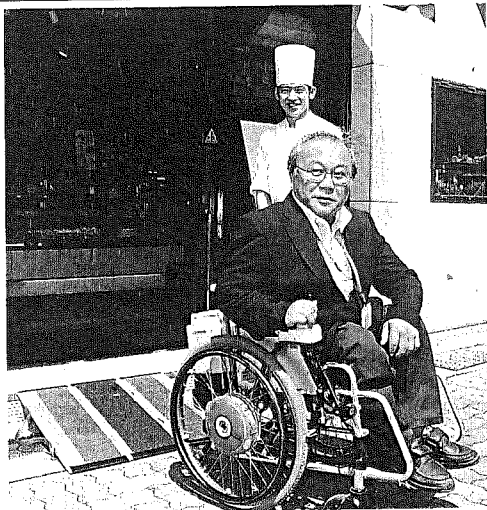
明石市内の民間事業 込んでいる。

所や地域団体が折りたたみ式スロープや筆談ボードを購入する際に市が助成する制度が創設2週間を迎えた。すでに14件の申し込みがあったといい、市は広く相談や申し込みを受け付けている。

同制度は1日に施行した市障害者配慮条例に基づいて創設した。施工が必要なスロープなどに最大20万円▽折りたたみ式スロープや筆談ボードの設置に最大10万円▽点字メニューの作成に最大5万円などを助成する内容で、市は本年度当初予算に350万円を盛り

ている。

市によると、市内では飲食店6店舗が同制度を活用して点字メニューを作成し、このうち3店舗が筆談ボード、1店舗が折りたたみ式スロープも設置している。



条例による助成制度を利用して導入した折りたたみ式スロープ＝本町1

は後回しになりがちである。市は「助成制度は予算枠を上回る場合はありがたかった」と話している。

市は今後、市広報紙の点字版や市ホームページに同制度を活用した事業所の一覧を掲載する予定。申し込みが

5142

(井原尚基)